

# どうなる?! クジラ化石

報告ファイル

1

延べ180人以上の市民の皆さんのご協力により、クジラ化石のクリーニングが間もなく終わります。これからは、クジラの中でもどのグループに入るクジラなのかをはっきりさせるための調査・研究を開始します。



*Smacolle*  
スマコレ ~クリーニングの  
ファッションは人それぞれ~



背骨（右側面）

## カルチャーナイト2009★

7月17日(金) 17時30分~21時

★20時30分まで開館。入場無料。  
(入館20時30分まで)

★特別企画★

ストーン・ペインティング

～北海道の川原の石を観察しよう!～

豊平川ほか道内の川原から拾い集めた小石を見比べて観察してみましよう。好きな色、おもしろい形の石を選んで、絵を描き、ペーパーウェイトや置物を作ります。

対象年齢なし。申し込み不要。無料。随時受け付け。

作品はお持ち帰りください。

常設展

「さっぽろの自然のおいたち」、

豊平川で発見されたサップロカイギウ化石の実物標本と生体復元模型、上の記事で登場したクジラ化石も見学できます。北海道のアンモナイトも収蔵展示中!

# 行事お知らせ

## 体験学習会 募集

### ①昆虫採集 > 自分で採集した昆虫を標本にします。 **メ切7/20必着**

日時：8月1日(土) 9時～16時 (雨天の場合は、センターで標本作りだけ行います。)

場所：定山溪百松沢※集合：札幌市博物館活動センター。貸切バスで移動。

対象：小学4年～中学生 (小学生は保護者同伴) 定員：20人 費用：無料

講師：札幌自然史研究会 (代表 神戸崇氏) のみなさん

### ②地史見学会 > 化石採取体験ほか、札幌の地形・地層を巡検します。 **メ切7/27必着**

日時：8月8日(土) 9時～16時 (雨天中止)

場所：定山溪、藻南公園、石山緑地など※集合：札幌市博物館活動センター。貸切バスで移動。

対象：小学4年～大人 (小学生は保護者同伴) 定員：40人 費用：無料

講師：古沢 仁 (当センター学芸員)

### ③海岸で漂着物観察と化石採取 > 石狩低地帯の地史や環境のつながりを実感しよう!

#### 募集期間8/1～8/31必着

日時：9月13日(日) 9時～16時 (雨天・強風中止)

場所：石狩市厚田区望来海岸※集合：札幌市博物館活動センター。貸切バスで移動。

対象：小学4年～大人 (小学生は保護者同伴) 定員：40人 費用：無料

講師：古沢 仁・山崎真実 (当センター学芸員)

### ①～③申込方法

ハガキ、FAXに行事名、郵便番号、住所、氏名、年齢(学年)、電話番号をご記入の上、博物館活動センター(下記住所)まで。多数時抽選。(保険を掛けますので、応募者全員のフルネームと年齢をお願いします。個人情報厳重に保管し、行事終了後直ちに破棄しております。)

## 自然科学絵本よみきかせ & 学芸員の井戸端サイエンス

日時：7/25 テーマ：川のつながり  
8/29 テーマ：海辺の生物  
9/26 テーマ：鳥、くちばし  
(いずれも土) 14時～14時30分

会場：札幌市博物館活動センター展示室

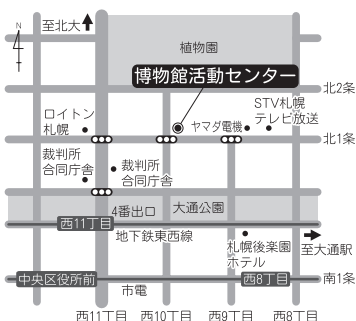
対象：3歳～大人 定員 なし

読み手：科学絵本よみきかせの会・じゅごん太

井戸端サイエンス：当センター学芸員

### 「井戸端サイエンス」とは?

絵本の中から科学につながる話題をとりあげ、誰にでもわかりやすく楽しく、しかも10分程度にまとめて学芸員が、お話します。普段は見られない標本を「蔵出し」することもありますよ。大人の方だけでも、お気軽にどうぞ。



## 札幌市博物館活動センター展示室ご案内

【開館時間】10:00～17:00 【入館料】無料 【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始

【住所】〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目リンケージプラザ5階

【電話】011-200-5002 【FAX】011-200-5003 【Eメール】museum@city.sapporo.jp

●ヤマダ電機の西隣がリンケージプラザです。

●駐車場はありません。近くの有料駐車場におとめください。

〈地下鉄〉東西線西11丁目駅4番出口から徒歩5分。

〈市電〉西8丁目または中央区役所前電停から徒歩8分。

〈バス〉北1条西7丁目バス停から徒歩3分。

## 編集後記

来館者数 **62,470**人 (2009年5月末現在)

6月中旬までパツとしない天気でしたね。久々に晴れた日には、待ってましたといわんばかりに綿毛がフワフワ漂っていました。札幌の6月の風物詩といってもよい、この綿毛ですが、正体はポプラなどヤナギ科の種子の根元についている毛で、「柳絮(りゅうじょ)」とも呼ばれます。手にとって良く見ると、綿毛の中にちゃんとタネが包まれています。(ま)

